

さんびょう6

三錨Ⅵ

本気に 元気に 根気よく

四日市市立富洲原小学校
学校だより

No. 28

平成30年 3月12日

次年度のより良い学校づくりのために（その1）

～平成29年度 教育活動に関するアンケート結果報告（児童の部）～



本校では、平成28年度から「夢と希望をもち、未来に向かって心豊かに育ち合う子どもを育てる」を学校教育目標に掲げ、その実現を図るために、学校をあげて取り組んでまいりました。そうした当校の教育活動が、子どもたちのよりよい成長を促すとともに、保護者の皆様の信頼に応える取り組みであったのかどうかを検証するために、昨年末に実施しました。児童と保護者対象のアンケートの結果をもとに、全教職員で協議を重ねてまいりました。今回2部に分けて、その主な協議内容(分析や改善方針等)の概略をお知らせいたします。

なお、保護者アンケートの自由記述欄にご記入いただいた貴重なお声は、全教職員が、その一言一句を真摯に受け止めさせていただきました。そのうえで、富洲原小学校の「より良い学校づくり」を進めるにあたり、次年度に向けて、解決すべき課題を整理するとともに、学校として、実行可能な項目から積極的に取り組んで参りたいと存じます。

保護者の皆様におかれましては、富洲原小学校のより良い教育活動の推進のために、今後とも変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

1 アンケート結果の分析及びその活用について

- (1) プラス評価が〇〇%以上だから「よい」。または、△△%に満たないから「悪い」といった短絡的な解釈を行うのではなく、昨年度との比較のなかで、特に顕著な変化が見られる項目について、その要因を探ることで、次年度に向けた今後の取り組みを改善する手がかりとしていきます。
- (2) マイナス評価が減少していない項目については、これまでの取り組みのどこに不備な点があったのかを確認するとともに、今後の指導を進めるなかで具体策への着手に努めます。
- (3) 自由記述でご指摘いただいた項目については、「早急に改善すること」と「計画的（中長期的な時間を要する）に改善すること」等に分類し、全教職員の共通理解のもとに可能な取り組みを進めます。
- (4) 第5回コミュニティスクール運営会議〔2月20日（火）に実施〕で、委員さん方（保護者代表、地域各団体代表）の皆様からいただいたご助言を念頭に、さらなる改善に取り組めます。

教職員による主な協議事項の概略

＜児童用アンケートの結果から＞

※文章中の、A、B、C、Dは、以下のようになります。

A：そう思う B：だいたい思う C：あまり思わない D：思わない

◆教育活動全体に関すること

・質問①「学校生活は楽しい」と質問②「行事に楽しく参加している」では、昨年度に引き続き、いずれもAとBの評価の割合を合わせて90パーセント以上の児童が肯定的にとらえています。特に、本年度は、AとBの評価の割合が94%と前年度より高く、これは本校の取り組みが、概ね望ましい方向であったと考えられます。今後もより有意義な内容をめざしつつ、児童が主体的に取り組むことができる行事を計画していきたいと思えます。

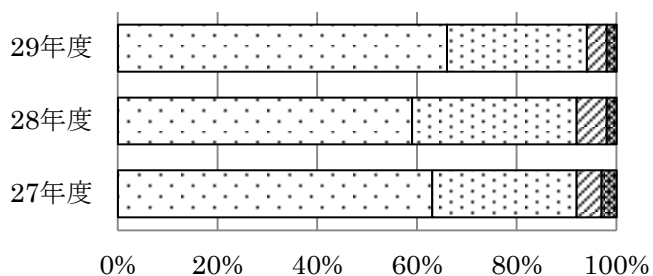
・質問⑨「学習したことは、将来役立つ」、質問⑩「将来の夢や目標を持っている」とともに90%以上を維持しています。また、質問⑭「自分にはよいところがある」では、A評価が5ポイント上昇しました。どれも高評価となっています。

学校では、各学年で、外部講師の方による授業や出前授業、校外学習等に取り組んでいます。また、コミュニティスクール推進により、地域の方に定期的に授業での子どもの様子を見ていただいています。いろいろな方と接することで視野が広がり、褒められたり励まされたりする

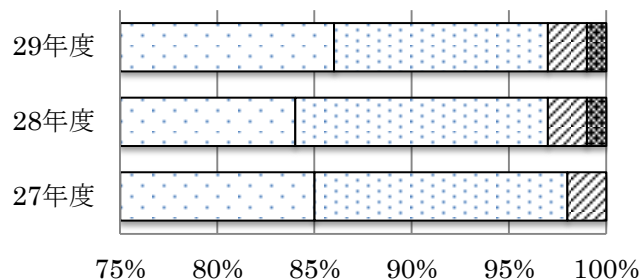
H 2 9 教育活動に関するアンケート（児童）集計結果

A そう思う  B どちらかといえばそう思う  C どちらかといえばそう思わない  D そう思わない 

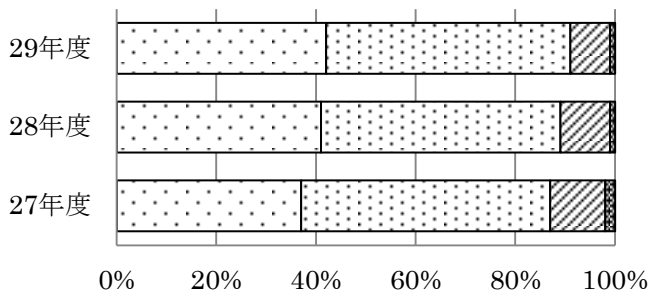
① 学校生活は楽しい



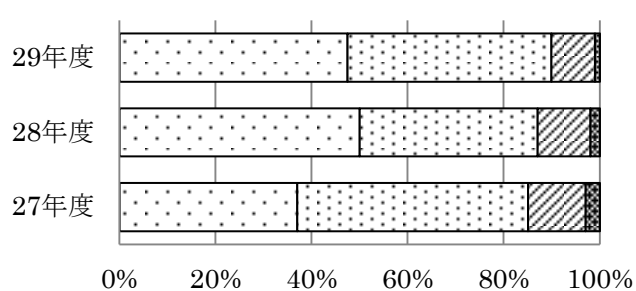
② 行事に楽しく参加している



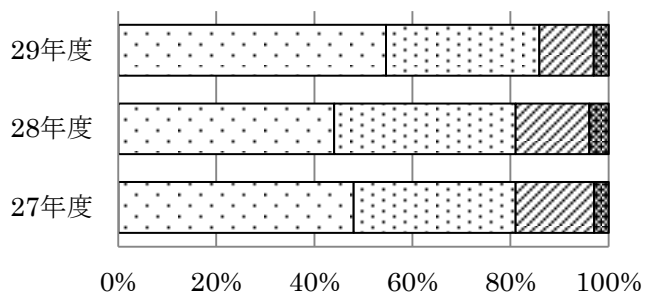
③ 学校生活のきまりを守っている



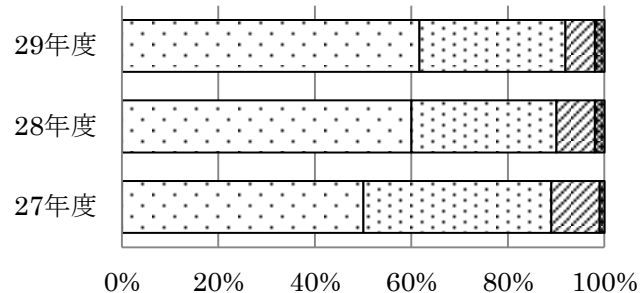
④ 社会のルールを考え合っている



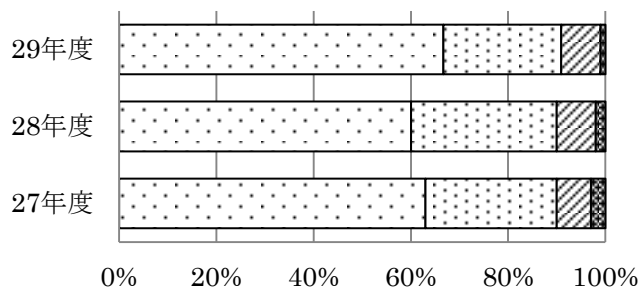
⑤ 自分でめあてを決めて学習している



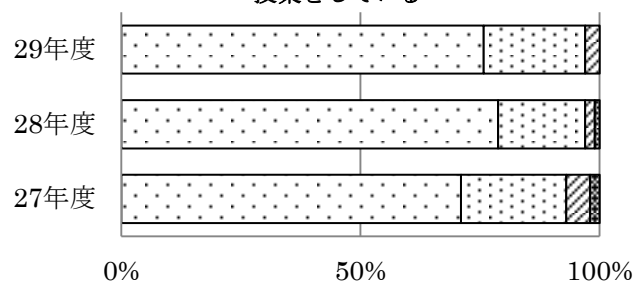
⑥ 授業で教え合ったり考え合ったりしている



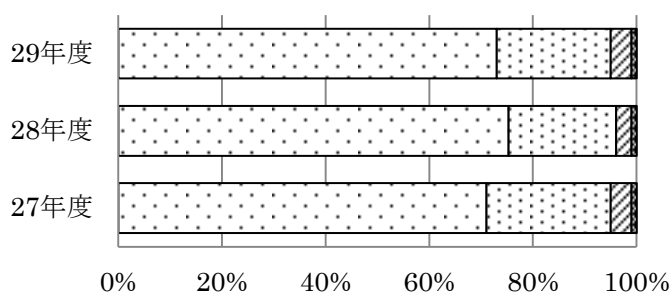
⑦ 読み・書き・計算の力がついてきている



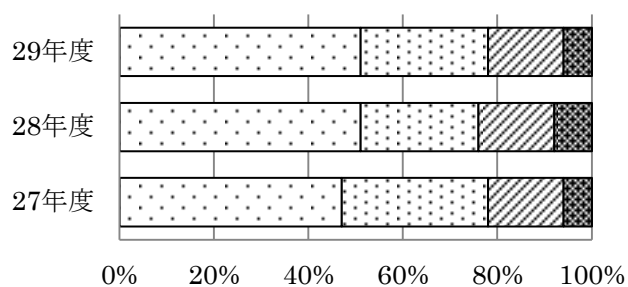
⑧ 先生たちは、考え合ったり話し合ったりする授業をしている



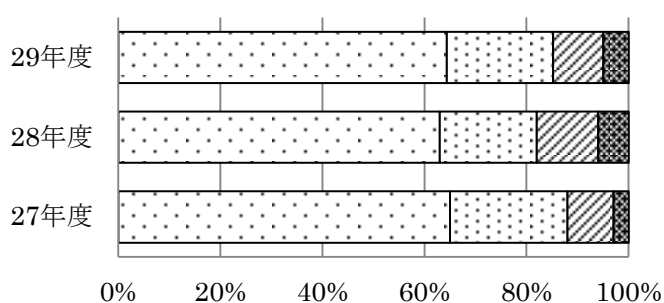
⑨学習したことは、将来役立つ



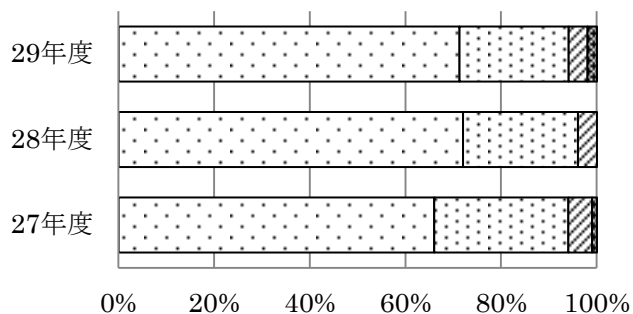
⑩進んで本を読んでいる



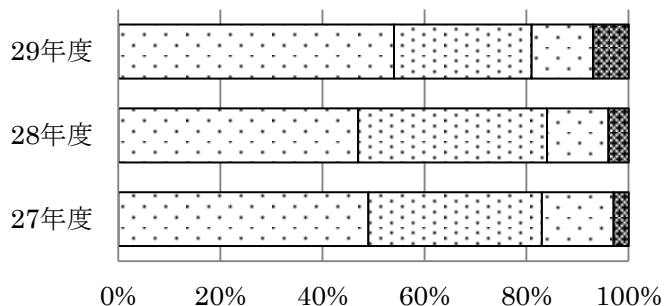
⑪進んで体を動かしている



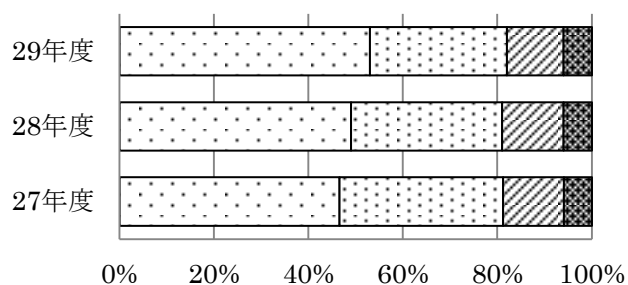
⑫人権の大切さについて、考えて行動している



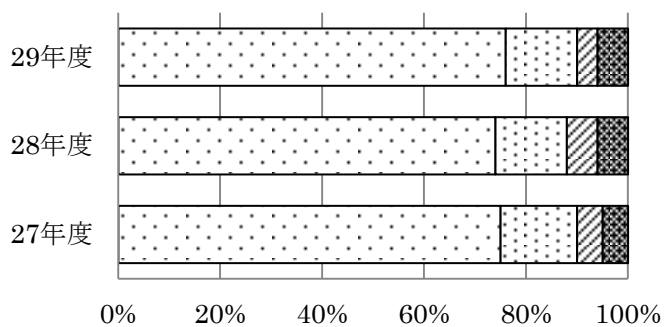
⑬困ったとき、先生たちに相談できる



⑭自分にはよいところがある



⑮将来の夢や目標を持っている



ことも増え、子どもたちの自信や意欲へとつながっていると考えられます。今後も学習内容を考慮したうえで、様々な学習形態を積極的に取り入れていきます。

◆学習に関すること

- ・質問⑤「**自分のめあてをきめて学習している**」では、Aの評価が、昨年度より10ポイント上昇しました。本校では、四日市モデルに基づいた社会人になっても通用する問題解決能力を育成する授業づくりに取り組んでいます。どの学習においても、めあてを決めることで学習内容をはっきりさせて、解決の見通しを持って学ぶという習慣が、少しずつ定着しつつあるのではないかと考えられます。今後も全教職員が同じ歩調で、根気よく指導を続けていきます。
- ・質問⑩「**進んで本を読んでいる**」では、AとB合わせた評価は、大きな変化はありませんが、昨年度より2ポイント上昇しています。学校では、本の展示や壁面飾りの工夫等、図書館の環境作りに取り組み、学習に関する本は、いつでも調べることができるように、必要に応じて教室へ配架して利用しています。また、司書さんや図書ボランティアさんによる読み聞かせは、子どもたちの本への興味の幅を広げる機会となっています。このよい環境を活かして、今後も積極的に図書館を活用するよう心がけていきます。
- ・質問⑥「**授業の中で教え合ったり、考え合ったりしている**」、質問⑦「**読み、書き、計算の力がついてきている**」、質問⑧「**先生たちは、考え合ったり話し合ったりする授業をしている**」では、昨年度に引き続き、どの項目においても、AとBを合わせて90パーセント以上の児童が肯定的にとらえています。本校では、研修テーマを『自分の思いを伝え、高め合う授業づくりを目指して』とし、「教師が出すぎない」を合言葉に、子どもたちが主体的に学び合う授業を目指しています。このような日々の取り組みが、子どもたちにも実感として伝わっている結果だと思えます。今後も、子どもたちの学習意欲の向上につながるような授業づくり・学力の定着を目指していきたくて考えています。
- ・質問⑪「**進んで体を動かしている**」では、28年度に比べて、AとBの肯定的な回答が増えています。休み時間には、多くの児童が、ドッジボールやサッカー、おにごっこ等運動場で思い思いの遊びをしています。これは、体育の授業やなわとび月間等の日頃の取り組みが実を結んでいる表れと思われれます。しかし、15%ほどは、「(どちらかと言えば)そう思わない」という児童もいます。今後も体を動かすことが楽しいと思えるような働きかけや取り組みをしていきたいと思えます。

◆生活（友達関係を含む）に関すること

- ・質問③「**学校生活の決まりを守っている**」では、A・Bともに微増しており、昨年度以上に規範意識の高まりが見られます。職員によるきめ細かい指導と、児童会でのルールを守るための目標づくり等の成果と考えられます。学校全体としては学校のルールを守らなければならないという意識は定着していて、学校が安定している様子を表しています。またC・Dにつけてきた児童についても昨年同様、むしろA・Bをつけた児童よりも自律的に振り返りができ、自己の行動について厳しくチェックしているという面もあり、そういう児童がいることは良い面であるとも言えます。
- ・質問④「**社会のルールについてみんなで考え合うことができる**」では、Aだけを見ると昨年度より下がっていますが、Bを含めたトータルでは2ポイントを伸ばしており、まずまずの結果と考えられます。社会のルールに関する指導といえば日常的なマナーから交通規則、人権感覚に至るまで多岐にわたっていますが、昨年同様、道徳・学活等の授業にとどまらず、交通安全・防犯・人権・ネットモラルにかかわる出前授業や、修学旅行や自然教室、社会見学等の校外学習の中で多層的に行われています。これらの積み重ねが良好な結果を産んでいると考えられます。
- ・質問⑬「**困ったとき、先生たちに相談できる**」では、Aポイントをつけている児童が過去三年の中では最高値なのに対して、Bを加えたポイントは最低値であり、その分がDに回っているのが気になるところです。あくまでも推量ですが、相談し難いと考えている児童は昨年度以前とほぼ同じ児童ではないかと思われれます。また、アンケート時に実際に何か困り感を抱いている可能性があります。具体的な取り組みとしては、そういうアンケート時にもC・D回答をしてきた児童に、聞き取りをして、しっかりとした個別対応をしていくことが大切に思われれます。